

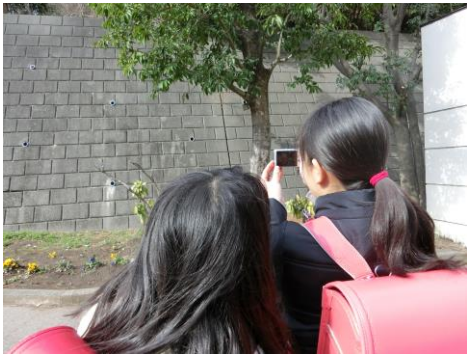



①事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立秋葉小学校 _____

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
国語 1	教室	オリエンテーション 学習、活動の見通し をつかむ。		活動内容を知り、地 域めぐりやカルタづく りを楽しみにしている 様子が見られた。
放課後 数日	各地域	地域めぐり 自分の住む地域・町 のよさに目を向け る。(カルタの題材に なりそうなものへの 意識を向ける。)		地域のよさがすぐに 思い浮かばないようだ だったので、改めて考え るきっかけになってよ かったようだった。 題材について友達同 士で話題にするなど、 楽しんで活動してい た。
国語 1	教室	報告会 地域めぐりをして気 づいたことや、自分 のお気に入りの場所 について発表する。		自分の地区以外のこ とはあまり知らない児 童もあり、「今度行っ てみたい」など興味を もって発表を聞いてい た。 早く写真を撮ってき て友達に見せたいとい う意欲を高めていた。
総合 1	教室	マスコット作り 自分の代わりにお気 に入りの場所の写真 (絵札)に写るマスコ ットを作る。	 	写真に写ることに抵 抗がある児童がいた り、写真に自分も入っ て写してもらうのでは なく、自分が思う地域 のよさが写真内に表れ ているかを自分で決め たりするために、マス コット(自分の分身)を 作る意図を理解し、楽 しんで描いていた。

放課後 数日	各地域	絵札の写真を撮る 決めておいた場所に行き、マスコットの位置や角度にも意識しながら、伝えたいよさが表れる写真を撮る。		よさが表れるように範囲や角度を考えながら取り組んでいた。角度が変わると、見え方や感じ方も変わることになり、新しい発見につながった児童もいた。
国語 1	教室	読み札作り 絵札に合わせて、読み札の言葉を考える。できたものを読み合い、よりよい文になるようにアドバイスをし合ってから清書する。	 	リズムも大切だが、まちのよさが伝わるように七五調にこだわらなくてもよいことを伝えた。自分の発見や地域のよさが表れるように、語句にこだわって楽しく活動することができた。 友達と一緒に考えることで、よりよい表現が見付き、満足して清書・仕上げをする姿が見られた。
国語 1	教室	カルタを楽しもう 作ったカルタで遊んだり、でき上がったカルタを友達と読み合い、感想を交流し合ったりする。		カルタを楽しむだけでなく、取った絵札を見ながら「こんな場所もあるんだね」「これってどこにあるの」などと話している姿が見られた。
総合 1	教室	学習の振り返り カルタ作りを通して感じたことや地域のよさ、地域の景観に対する気付きなどをまとめる。		自分たちの地域を大切にしていきたい、よさを残していきたいという意欲を高めていた。

〈児童が作ったカルタ〉

い息きれて
登った後は
絶景だ



むらさきの
あじさい咲くよ
この場所は



こうえんは
えがおもしぜんも
いっぱいだ



と
おくまで
景色が見える
名瀬の町



②学習指導案

単元名 (全9時間)	まちのよさを伝えるカルタを作ろう
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の創立 30 周年という節目に当たること、児童にとっては小学校生活最後の一年間であるということで、自分が住んでいる地域の人々や、地域の環境（景観のよさ）に目を向け、自分たちの地域について考える。 ・景観を通して地域の伝統や文化などに対する理解を深めたり、地域に対する愛着をもたせたりしていく。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> ① 国語「ようこそ、わたしたちの町へ」を入り口にし、町のよさを伝えるために地域の景観に着目してカルタ作りをすることを伝える。 ② 地域のお気に入りの場所や、町のよさが伝わる場所を挙げさせ、実際にその場所へ行って情報収集をする。(写真に撮ったり、メモを書いたり、絵を描いたりする) ③ 地域めぐりをして気付いたことや自分のお気に入りの場所について報告し合う。 ④ カルタの絵札として撮る写真に写すマスコットを作る。 ⑤ 絵札の写真を撮る。 ⑥ 絵札に合わせて、読み札の言葉を考える。 ⑦ できあがったカルタを見合ったり、カルタを行ったりする。 ⑧ カルタ作りを通して感じたことや、触れた地域のよさ、地域の景観に対する気付きなどをまとめる。 ⑨ 出来上がったカルタを学習発表会の場で、保護者や地域の方に紹介する。
参考資料 準備品 実施場所等	<ul style="list-style-type: none"> ・見本になるようなカルタ（今回は地域カルタ「戸塚カルタ」を使用） ・使い捨てカメラ

学習の流れ（6／9）

時間	学習活動	教師の指導・支援	評価
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本時のめあてを確認する。 2. 絵札に合わせて読み札の言葉を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・撮ってきた写真を配布し、活動意欲を高める。 ・伝えたい内容を付箋に書くことで、自分の思う「まちのよさ」を明確にさせる。 ・色や形などに着目できることや、形容詞一覧から言葉を選んでもよいことを伝える。 ・よさが表れていれば七五調にこだわらなくてもよいことや、この 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が伝えたい「まちのよさ」が表れるように、読み札の文を考えて書くことができる。

	<p>3. できた読み札を絵札と照らし合わせてグループで交流し、表現を厳選する。</p> <p>4. 読み札を清書する。</p>	<p>後のグループ活動で相談しても良いことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の読み札を読んで感じた、まちのよさやお気に入りの理由をしっかりと伝え合えるように、伝え方の例を示す。 ・ 自分の思いと友達の感じたことを比較し、よりよい表現になっているか声をかける。 ・ 学習発表会の場で、保護者や地域の方に紹介することを伝え、丁寧に書こうという意識をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の文について、目的に合った意見や感想を伝えることができる。
--	--	--	---

<留意点>

③実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

見通しをもって活動できるように具体例を示したり、地域カルタに取り組んだりした。

(2) 実施にあたり苦勞した点

地域を巡る時間は、放課後児童のみが行ったので、児童が撮ってきた写真の場所やその良さを十分に察することができず、読み札づくりでの支援が難しかった。

(3) 児童の反応

自分の地区以外のことを新しく知るきっかけになったり、いつも見ている風景やものも、角度が変わると見え方や感じ方が変わることに気付き、自分の地域に関心を深めたりすることができた。活動を通して地域の良さを再認識することで、自分の住む「まち」への愛着が増したように感じた。また、カルタづくりという題材が身近で、全体的に楽しく意欲的に活動することができた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

学校周辺の景観や児童がお気に入りの場所についての理解が深まり、勉強になった。似た場面や取組があった場合には、地域の人々と協力を図りながら活動を深めることもできるのではないかと、新たな学習展開を考えるきっかけにもなった。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから留意すべき事項等〕